

## 2012年度 社団法人 宇治青年会議所

総務委員会 委員長方針

専務理事 高辻 雅  
委員長 関 智和

宇治青年会議所を創始した先人たちの精神は、先輩諸兄から現役メンバーへ脈々と受け継がれ、組織として社会的信用を獲得しながら多くの実績を残してきました。しかしながら、近年は会員数の減少から現状の運営方法をより効率的に見直し、組織として事業の質を落とすのではなく、むしろ向上させるべく活動していかなければなりません。それは言い換えるならば、我々に会員拡大という目標を示しているのと同時に、現在の活動をより意義のあるものに変革するよう求められているのではないのでしょうか。

青年会議所は文字通り会議をする所であります。「明るい豊かな社会の実現」を目指して同じ目的意識を持った仲間とともに会議において考え、決意し、信念を持って事業をやり遂げる、この一連の流れは昔も今も変わるものではありません。しかし、その運営面や事業内容については、常に時代に応じた変化が求められます。そのためにもまず、総務委員会として組織運営に関わる様々な情報を取捨選択し、継続や変化の意思決定の場を設けなければなりません。そして組織全体の円滑な運営に最善を尽くすとともに、新たな組織への一歩を踏み出すべく気概をもってあたっていくことが私たちの担いであり、責務であると考えます。

総務委員会は、組織運営に係る資料作成やその管理を計画的かつ正確に全うすることを第一に考え、活動して参ります。また、事業数や運営方法の見直しが図られる本年度、例会セレモニーを通じた意識改革の推進にも担当委員会として取り組んで参ります。毎月メンバーが一堂に会する例会セレモニーは、その場にいるもの全てが同じ情報や想いを共有してつくりあげるものです。特に委員会、特別室、出向者の報告においては、担当者によるPRや感想報告に留まらず、各活動の意義や進捗状況の報告にもなるよう働き掛けていきます。そして、仲間によって発信されるその思いから各活動におけるメンバー一人ひとりの役割や責任を再認識し、これまで以上の有意義な時間の共有に繋げていきたいと考えます。

私たちは宇治青年会議所の中核を担う委員会としての自覚を持ち、責任ある組織運営において更なる信頼関係の構築に努めて参ります。それはメンバー間の習慣的な情報交換と相互理解にも繋がり、強い絆となって今後の宇治青年会議所に必要不可欠なものになるはずです。メンバーが同じ想いを共有する組織であれば、公益法人制度改革や2013年の近畿地区大会においても必ず思い描く成果をあげることができると確信いたします。本年度を宇治青年会議所の新たな歩みの一歩として次代に繋がる飛躍の年とすべく私たちは活動していく所存です。